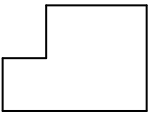
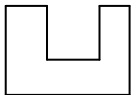


# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立小坪小学校)

- ① 教科等 算数科
- ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 面積
- ④ 本時の目標 複合図形の面積の求め方を工夫して考え、その考え方を説明できる。
- ⑤ 学習の流れ (7時間目/全10時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時に関わる既習内容の復習をする。 2 問題を提示し、本時の学習のめあてを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正方形や長方形の面積の公式を確認させる。</li> <li>・前時までの図形との違いに気付かせ、本時のめあてを設定させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">階段のような形の面積の求め方を考えよう。</div>	
3 自力解決をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の形に分ければ、面積の公式が使えることに気付かせ、課題解決への見通しをもたせる。</li> <li>・複合図形をノートに貼り、補助線をかき込んで面積を求めさせる。</li> <li>・どの部分の面積を求めたのかをはっきりさせるために、図の中の長方形や式に記号を付けたり、長方形の縦・横の辺に赤線・青線を引いたりさせる。</li> </ul>	
4 集団解決をする。 ① 縦に線を入れて、2つの長方形に分けて求めました。 ② 横に線を入れて、2つの長方形に分けて求めました。 ③ 大きな長方形から、ないところの長方形を引いて求めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いが深まるように、児童の考えを意図的に順を追って取り上げる。</li> <li>・自分の考えを図と式を結び付けて説明させる。</li> <li>・友だちの考えた式や図を読み取り、どんな方法で求積したかを他の児童に説明させる。</li> <li>・解決方法の似ているところや違うところを考えさせ、それぞれのよさや特徴をもとに、それぞれの考え方に名前を付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形の面積の求め方をもとにして、複合図形の面積の求め方を工夫して考え、説明している。〔数学的な考え方〕(ノート・発言)</li> </ul>
5 まとめる。 6 練習問題をやる。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を児童の言葉でまとめさせる。</li> <li>・集団解決で出た解決方法のうち、どれを使えばより簡単に求められるかを考えて求積させる。</li> <li>・ペアで自分の考えを説明し合わせる。</li> </ul>	
7 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに、本時の学習で分かったことや友だちの考えのよかったところなどを書かせる。</li> </ul>	

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 既習事項をもとに複合図形の面積の求め方を工夫して考え、図と式を関連付けて説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 自分の考えを明確にさせるために、また、考えを分かりやすく表現させるために、自力解決において、自分の考えを図に書き込んだり、図と関連付けて式を書いたりさせる。
- 自分の考えを説明するだけでなく、図や式から友だちの考えを読み取り説明する場を設ける。
- 練習問題において、ペアトークを設定し、お互いの考えを説明させ、確認し合わせる。